

江東区 高潮 ハザードマップ

保存版

浸水の時間

高潮氾濫による浸水、排水の想定条件

■東京湾沿岸において、想定し得る最大規模の台風に伴う高潮氾濫により、波が海岸や河川の堤防を越えた場合や、堤防が壊れた場合を想定しています。

■高潮氾濫で市街地などに溜まった水は、自然排水や排水施設（排水機場・ポンプ所など）により河川・運河へ排水することを想定しています。

■排水施設が浸水した場合や、備蓄している燃料が無くなった場合は、排水が出来ることを想定しています。

■詳細は、東京都の高潮浸水想定区域図のホームページをご確認ください。



浸水継続時間の凡例

- 1週間以上の区域
- 3日～1週間未満の区域
- 1日～3日未満の区域
- 12時間～1日未満の区域
- 12時間未満の区域

※色分けのある入居型施設は想定していません。
※色分けを定めたものを江東区ホームページに掲載しております。

凡例 (高潮)

- カメラ設置箇所
- 水位観測所
- 主な公共施設
- 避難先
- 自主避難施設
- 拠点避難所
 - ・ 地盤が高い区域
 - ・ 浸水しない区域
 - ・ 公園・広場がある
- 水害時、特に危険となる箇所
- アンダーパス

アンダーパスとは
周辺より低く水が溜まりやすい
ため注意が必要な箇所

避難する時の留意点

情報収集しましょう
スマートフォンで最新の情報をチェックしましょう。

避難の呼びかけに注意を
避難の呼びかけに注意を

落ちついて避難しましょう
落ちついて避難しましょう

万が一、逃げ遅れた場合には
ご自宅か、最寄りの公共施設において想定される水深より高い場所に避難しましょう。

足元に注意!
浸水しているため足元の状況がわかりにくいため、歩行時は足元を注意しながら避難しましょう。

避難先が安全かどうか確認しましょう
避難先が安全かどうか確認しましょう

●自主避難施設とは
台風などの水害時に住宅の浸水が懸念される場合に、自主的に避難を希望する区民を受け入れる施設のこと。文化センター・スポーツセンター等が対象。

●拠点避難所とは
地震や水害などの災害により、自宅生活ができなくなり、地域や水害などの災害の場として、区が開発する避難者受入施設のこと。区立小・中学校が対象。

改定年月：令和7年3月 印刷物登録番号 (6) 68号
編集発行：江東区 土木部 河川公園課 TEL: 03 (3647) 2538
江東区 総務部 危機管理室 防災課 TEL: 03 (3647) 9587 ※令和7年4月より防災計画課

おおよその距離と時間を測ってみよう
1000m
1000m未満の距離を測るには、おおよそ15分が目安です。ただし、歩行速度や地形、荷物の有無などにより、実際には異なる場合があります。おおよその距離を測る際は、必ず事前に距離を正確に測り、余裕を持った時間を心がけましょう。

東京都 高潮浸水想定区域図
〔想定最大規模〕
(浸水継続時間)
作成主体：東京都(港湾局、建設局)
作成年月日：令和6年12月
対象とした台風規模
中心気圧：910hPa(室戸台風級)
移動速度：73km/h(伊勢湾台風級)

江東区では、現在洪水、内水、高潮の3種のハザードマップと水害時の避難に関する情報や、江東区の治水対策の歴史や洪水氾濫、高潮氾濫のメカニズムなどを掲載している「江東区洪水高潮マップ」を公開しています。
また、これらハザードマップの情報を音声版として「江東区音声版水害ハザードマップ」に収録しています。合わせてご参考ください。



1 : 25,000
0 0.25 0.5 1 1.5 2 km

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の地形図を利用して作成したものである。(承認番号) 6都市基交測第205号。(承認番号) MWAT 利用許第06K1081号